

地域とともに歩み、地域で育つ

2023年も残り少なくなりました。本校では、本日終業式を行い、明日から1月14日まで冬休みとなります。2学期は、ここまで一気に駆け抜けてきた感じがします。先日、日本漢字能力検定協会が「税」を今年の漢字として発表しましたが、本校の今年の漢字は「開」ではないかと思います。

10月に開催したゆり支援フェスティバルは、3年ぶりに保護者の人数制限無しとし、生徒の作業学習製品販売会も再開しました。子どもたちも張り切って準備や当日の発表や販売に取り組み、野菜や製品も飛ぶように売れ、子どもたちの表情は充実感にあふれていました。

校外学習では各学年様々な場所に出かけ、公共の場や色々な人との触れ合いを経験しました。地域の店舗の一部をお借りして販売会も行いました。地域の催し物にも参加する機会をいただき、高等部2年生は由利本荘市社会福祉大会、高等部3年生はにかほ市で行われた「日本海に響け!太鼓の祭典」に参加し、日頃の学習の成果を多くの方々に見ていただくことができました。ここ数年コロナ禍で、外に出かけ直接地域の方と触れ合う機会が制限されていたことを考えると、このように皆さんにゆり支援学校の児童生徒や取組の一端を知っていただくことができ大変うれしく思います。

地域の学校との交流活動も活発に行われました。小学部生は地元の小学校に何度も出向き、個々の地元の学校の学級や、学年・学部単位の交流学習を行いました。交流の前に、本校職員が出向き、障害理解学習を行い、障害の捉え方や配慮してほしいことなどを伝える機会があるのですが、ある学校ではそのあと、交流で行うボウリングゲームを行う時に、ピンが倒れて大きな音が出ないようにと、ペットボトルに綿をつけるアイデアを教えてくださいました。ナイスアイデアです!何よりその心遣いをうれしく思います。



▲音が出ないように工夫したピン

学校としても、8月25日にはにかほ市のかほっとで、「秋田県特別支援学校学校展」を県央地区の主管校として行い、各校の学習の様子や作業学習製品などを展示し、一般の方々にご覧いただきました。12月6日には、「秋田県特別支援学校就労促進フェア」がカダーレで開催されました。こちらも県央地区の主管校でしたが、作業学習で磨いている技を競い合う技能競技会(ワープロ、喫茶サービス、ビルクリーニング)や就労を目指す生徒の実践発表、作業学習製品販売を行いました。多数の企業や一般市民の皆様においでいただき、特別支援学校の生徒の自立と社会参加に向けた意気込みや日頃の学習への取組を見ていただくことができました。

またこの度、これまでの子どもたちの取組を認めていただき、ソロプチミスト日本財団様より「学生ボランティア賞」をいただきました。他にも住友生命保険相互会社様、日本スポーツ用品協同組合様、マックスバリュ様等よりご寄付やご寄贈をいただきました。私たちの取組に目を留めていただきましたことを、大変光栄に思っております。新聞、ゆりほんTV等メディアでも何度も取り上げていただいたことも大きな励みになっております。私達の活動は地域の方に認められている、応援していただいている、まさに「地域で育てられ」ていることを改めて実感しています。今後は支援していただくだけでなく、さらに私たち自身が地域に必要とされる存在になりたいと考えております。

さらにもう一つうれしいことがありました。本校の伝統なのでしょう、保護者の皆さんは学校のPTA活動にお忙しい中時間をさいていただき、積極的に参加してくださっています。これまでの取組が評価され、このたび「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞しました。保護者の皆さんが学校のために力を貸してくださっている姿は、児童生徒にとってうれしいことでしょう。皆さんに支えられてこそその本校の教育活動であると思います。心より感謝申し上げます。

心を外に「開」いて様々な活動に取り組んだ2学期、地域や保護者の皆さんのご支援の下、2学期の一人一人の成長はめざましいものがあります。様々な形での応援、協力、そして活躍の場を与えていただいたすべての皆様ありがとうございました。

外に向けた活動は、内面的な成長にもつながりました。自分なりの目標や課題に挑戦し、不安でドキドキしたり、迷ったり立ち止まったり、時にはぶつかり合ったりしながらも、勇気を出して課題に立ち向かい克服する姿。時には間違いやお互いの思いのすれ違いに悶々としながらも、お互いを認めて謝ったり、仲直りしたりを繰り返しながら関わり方を学ぶ姿。そして困難やトラブルを乗り越えた後の、安心と自信に満ちた表情や姿。その一つ一つの出来事は、貴重な生きた学びです。きっと今後の大きな力になることでしょう。



秋田魁新報 R5.11.15の記事より



寄宿舎を彩るツリー

3学期はまとめの時期、そして次のステージへの準備の時期でもあります。3段跳びで言えば、「ホップ・ステップ・ジャンプ」の「ジャンプ」でしょうか。年末年始のイベントも目白押しの冬休み。また各家庭でたっぷり充電し、新しい年に元気で会えることを楽しみにしたいと思います。

R5.12.25

校長 近藤 千晴